

令和6年6月4日

保護者の皆様

大阪市立文の里中学校
校長 平岡 昌樹
学校歯科医 川西 旭彦

給食後の歯磨きについて

平素は、本校保健活動にご理解、ご協力を戴きありがとうございます。

今年度、本校は全日本学校歯科保健優良校大阪市代表にノミネートされました。本校では、1年次に歯と口の健康教室を開催し、歯科衛生士による講話を受講、2年次には歯肉炎予防教室の開催と各クラス単位での講話と歯垢染色実習、3年次には3年間の取りまとめとして、校医による学年講話を開催し、中学生生活に直結した歯科保健指導を行って参りました。

口には「食物を取り込み食べる」機能、「表情を作り話す」機能及び「運動を支え、体のバランスをとる」機能があり、すべてが成長期の子供たちにとって直接かわる生活の質に大きな影響を及ぼします。

また、口は命の入り口、心の出口と言われるように肉体的にも精神的にもとても大切な役割を担っています。

先般のコロナ禍においても口腔環境の悪化が感染を増悪させる観点から改めて口腔清掃、うがいの励行がクローズアップされたところです。

ご存じのように口腔清掃の基本は歯みがきに他ありません。

学校給食後の歯磨きを推奨している学校もありますが、多人数となると洗口場の確保、教室の換気、歯磨き時間などが課題となり、全員での定時の実行が難しくなります。

また、飛沫の拡散防止のため片手で口を覆う事や私語の禁止などにつとめながらの集団行動はかなり困難な状況です。

以上の事から本校では給食後の歯磨きは、希望者のみ洗口場にて実施することとします。

友達同士で一緒に歯磨きをして楽しかったという声も聴きます。健康維持には、とても大切な行為ですが、校内での集団行動としての歯磨きは、2年次の歯肉炎予防教室以外は行いません。

ご家庭での毎食後、就寝前の歯磨きは必要ですので、歯磨き環境にご配慮ください。

今後も教職員、学校歯科医ともども、生きる力をはぐくむ歯科健康維持推進をして参りますのでご協力お願いいたします。